



2019年3月期 決算短信(日本基準)(非連結)

2019年5月10日

上場会社名 株式会社 ツツミ

上場取引所 東

コード番号 7937 URL <http://www.tsutsumi.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 互 智司

問合せ先責任者 (役職名) 経営管理室長 (氏名) 吉川 哲也

TEL 048-432-5510

定時株主総会開催予定日 2019年6月27日

配当支払開始予定日

2019年6月28日

有価証券報告書提出予定日 2019年6月27日

決算補足説明資料作成の有無 : 無

決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2019年3月期の業績(2018年4月1日～2019年3月31日)

(1) 経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2019年3月期	17,515	0.3	913	5.7	981	7.6	399	33.3
2018年3月期	17,566	8.4	968	11.3	1,062	9.6	599	

	1株当たり当期純利益	潜在株式調整後1株当たり 当期純利益	自己資本当期純利益 率	総資産経常利益率	売上高営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2019年3月期	22.94		0.6	1.4	5.2
2018年3月期	34.08		0.9	1.5	5.5

(参考) 持分法投資損益 2019年3月期 百万円 2018年3月期 百万円

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2019年3月期	70,669	68,808	97.4	4,026.20
2018年3月期	72,023	70,164	97.4	3,990.91

(参考) 自己資本 2019年3月期 68,808百万円 2018年3月期 70,164百万円

(3) キャッシュ・フローの状況

	営業活動によるキャッシュ・フロー	投資活動によるキャッシュ・フロー	財務活動によるキャッシュ・フロー	現金及び現金同等物期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2019年3月期	2,190	357	1,556	39,889
2018年3月期	1,883	157	527	38,898

2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向	純資産配当 率
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2018年3月期		15.00		15.00	30.00	527	88.0	0.8
2019年3月期		15.00		15.00	30.00	518	130.8	0.7
2020年3月期(予想)		15.00		15.00	30.00		88.4	

3. 2020年3月期の業績予想(2019年4月1日～2020年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期 純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	16,700	4.7	915	0.2	990	0.9	580	45.1	33.94

(注)当社は、年次で業務管理を行っていることから、当期より通期業績予想のみを開示しております。

注記事項

(1) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更	: 無
以外の会計方針の変更	: 無
会計上の見積りの変更	: 無
修正再表示	: 無

(2) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2019年3月期	20,080,480 株	2018年3月期	20,080,480 株
期末自己株式数	2019年3月期	2,990,408 株	2018年3月期	2,499,309 株
期中平均株式数	2019年3月期	17,423,793 株	2018年3月期	17,581,299 株

決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 経営成績等の概況(4) 今後の見通し」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当期の経営成績の概況	2
(2) 当期の財政状態の概況	2
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況	2
(4) 今後の見通し	3
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方	3
3. 財務諸表及び主な注記	4
(1) 貸借対照表	4
(2) 損益計算書	6
(3) 株主資本等変動計算書	7
(4) キャッシュ・フロー計算書	9
(5) 財務諸表に関する注記事項	10
<継続企業の前提に関する注記>	10
<表示方法の変更>	10
<持分法損益等>	10
<セグメント情報>	10
<1株当たり情報>	10
<重要な後発事象>	10

1. 経営成績等の概況

（1）当期の経営成績の概況

当期におけるわが国経済は、企業収益や雇用環境の改善などを背景に緩やかな景気回復基調で推移いたしました。通商問題や世界的な地政学的リスクの高まりによる影響が懸念されるなど不安要素が多数存在し、景気の先行きは不透明な状況が続いております。

宝飾品業界におきましても、こうした景況を反映し、企業を取り巻く環境は引き続き厳しい状況でありました。

このような経済情勢のもと、当社は、20代から30代の女性をターゲットにしたジュエリーブランド「TODAY's DIAMONDS」を新たに立ち上げ、新規顧客の獲得に努めるとともに、ハウスブランド「Pure Planets」「Blessed Rain」の継続的なブランディング施策を推進するなど、販売力の更なる強化に取り組んでまいりました。

その結果、売上高は175億15百万円（前期比0.3%減）となりました。利益面につきましては、営業利益が9億13百万円（前期比5.7%減）、経常利益が9億81百万円（前期比7.6%減）、当期純利益は3億99百万円（前期比33.3%減）となりました。

主要品目の販売実績は、ネックレス・ブレスレットは63億8百万円（前期比2.3%減）、指輪は61億78百万円（前期比3.5%減）、小物は29億37百万円（前期比0.3%増）であります。

店舗につきましては、ジュエリーツツミイオンモールいわき小名浜店をはじめとする7店舗を新たに開設したほか、既存店3店舗のリニューアル及び9店舗の退店を実施いたしました。

（2）当期の財政状態の概況

当事業年度末の総資産は、706億69百万円となり、前事業年度末と比較して13億53百万円減少しております。これは主に、現金及び預金が9億91百万円、1年内回収予定の差入保証金が1億45百万円増加したものの、商品及び製品が9億73百万円、土地が5億12百万円、投資有価証券が4億42百万円、差入保証金が3億4百万円、原材料及び貯蔵品が1億86百万円減少したことによるものです。

純資産の部は、688億8百万円となり、前事業年度末と比較して13億56百万円減少しております。これは主に、自己株式が9億99百万円増加し、その他有価証券評価差額金が2億30百万円、利益剰余金が1億26百万円減少したことによるものです。利益剰余金の減少は、当期純利益の計上に伴い増加したものの、配当金の支払に伴い減少したことによるものです。

（3）当期のキャッシュ・フローの概況

当事業年度における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、営業活動及び投資活動によりそれぞれ21億90百万円、3億57百万円の資金が得られ、財務活動により15億56百万円の資金を使用したことにより、前事業年度末に比べ9億91百万円増加し、398億89百万円となりました。

また、当事業年度における各キャッシュ・フローは次のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

当事業年度において営業活動により得られた資金は21億90百万円となり、前年同期と比べ3億7百万円の増加となりました。これは主に、前年同期において、税引前当期純利益を10億39百万円、内、減損損失を60百万円、投資有価証券売却益を21百万円計上し、たな卸資産の減少9億10百万円があったことに対し、当事業年度において、税引前当期純利益を7億34百万円、内、減損損失を5億88百万円、投資有価証券売却益を3億32百万円計上し、たな卸資産の減少12億82百万円があったことによるものです。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当事業年度において投資活動により得られた資金は3億57百万円となり、前年同期と比べ5億15百万円の増加となりました。これは主に、前年同期と比べ投資有価証券の売却による収入が4億97百万円増加したことによるものです。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当事業年度において財務活動により使用した資金は15億56百万円となり、前年同期と比べ10億28百万円の増加となりました。これは主に、前年同期と比べ自己株式の取得による支出が10億16百万円増加したことによるものです。

当社のキャッシュ・フロー指標のトレンドは以下のとおりであります。

	2017年3月期	2018年3月期	2019年3月期
自己資本比率 (%)	97.5	97.4	97.4
時価ベースの自己資本比率 (%)	50.8	50.0	45.5

(注) 自己資本比率：自己資本／総資産

時価ベースの自己資本比率：株式時価総額／総資産

※ 株式時価総額は、期末株価終値×期末発行済株式数(自己株式控除後)により算出しております。

(4) 今後の見通し

今後の経済情勢につきましては、雇用・所得環境の改善が続く中で、各種政策の効果もあつて、景気は緩やかな回復が続くことが期待されます。しかしながら、通商問題の動向が世界経済に与える影響や、中国経済の先行き、海外経済の動向と政策に関する不確実性、金融資本市場の変動の影響などがわが国の景気を下押しするリスクとして残り、先行き不透明な状況が続くものと予想されます。

宝飾品業界におきましても、お客様による多様な選別化が進み、企業間の競争は更に激化することが予想されます。

このような経済情勢のもと、当社は、引き続きより幅広い層へのブランディングに注力するとともに、お客様満足度の向上を更に推進し、魅力溢れる店舗づくりに全力で取り組んでまいり所存であります。

以上に基づき、次期の業績につきましては、売上高167億円（前期比4.7%減）、営業利益9億15百万円（前期比0.2%増）、経常利益9億90百万円（前期比0.9%増）、当期純利益5億80百万円（前期比45.1%増）を見込んでおります。

2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社は、財務諸表の期間比較可能性及び企業間の比較可能性を考慮し、当面は、日本基準で財務諸表を作成する方針であります。なお、I F R S（国際財務報告基準）の適用につきましては、国内外の諸情勢を考慮の上、適切に対応していく方針であります。

3. 財務諸表及び主な注記

(1) 貸借対照表

(単位：百万円)

	前事業年度 (2018年3月31日)	当事業年度 (2019年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	38,898	39,889
受取手形	54	44
売掛金	1,065	1,140
商品及び製品	14,585	13,611
仕掛品	494	372
原材料及び貯蔵品	2,061	1,875
前払費用	46	45
その他	161	379
貸倒引当金	△6	△6
流動資産合計	57,360	57,351
固定資産		
有形固定資産		
建物	4,729	4,687
減価償却累計額	△3,969	△3,988
建物 (純額)	760	699
構築物	62	62
減価償却累計額	△59	△60
構築物 (純額)	2	2
機械及び装置	164	158
減価償却累計額	△134	△134
機械及び装置 (純額)	30	23
車両運搬具	13	13
減価償却累計額	△13	△13
車両運搬具 (純額)	0	0
工具、器具及び備品	1,105	1,093
減価償却累計額	△883	△892
工具、器具及び備品 (純額)	222	200
土地	8,208	7,695
建設仮勘定	—	49
有形固定資産合計	9,224	8,670
無形固定資産		
借地権	152	152
ソフトウェア	404	277
その他	8	43
無形固定資産合計	565	472
投資その他の資産		
投資有価証券	568	125
関係会社株式	13	33
出資金	1	1
関係会社長期貸付金	79	77
前払年金費用	163	171
繰延税金資産	138	161
差入保証金	3,759	3,455
その他	148	149
貸倒引当金	△0	△0
投資その他の資産合計	4,873	4,174
固定資産合計	14,662	13,317
資産合計	72,023	70,669

(単位: 百万円)

	前事業年度 (2018年3月31日)	当事業年度 (2019年3月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	146	175
未払金	52	70
未払費用	499	519
未払法人税等	466	400
前受金	29	37
預り金	63	60
賞与引当金	199	191
その他	236	232
流動負債合計	1,693	1,688
固定負債		
役員退職慰労引当金	121	129
その他	43	43
固定負債合計	165	172
負債合計	1,858	1,861
純資産の部		
株主資本		
資本金	13,098	13,098
資本剰余金		
資本準備金	15,707	15,707
資本剰余金合計	15,707	15,707
利益剰余金		
利益準備金	600	600
その他利益剰余金		
別途積立金	45,610	45,610
繰越利益剰余金	940	814
利益剰余金合計	47,150	47,024
自己株式	△6,059	△7,059
株主資本合計	69,897	68,770
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	267	37
評価・換算差額等合計	267	37
純資産合計	70,164	68,808
負債純資産合計	72,023	70,669

(2) 損益計算書

(単位: 百万円)

	前事業年度 (自 2017年4月1日 至 2018年3月31日)	当事業年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)
売上高	17,566	17,515
売上原価		
製品期首たな卸高	15,470	14,585
当期製品製造原価	7,208	7,321
合計	22,679	21,906
他勘定振替高	107	102
製品期末たな卸高	14,585	13,611
原材料評価損	3	0
製品売上原価	7,990	8,192
売上総利益	9,576	9,322
販売費及び一般管理費	8,608	8,409
営業利益	968	913
営業外収益		
受取利息	4	4
受取配当金	13	7
為替差益	0	0
受取家賃	59	58
その他	20	17
営業外収益合計	97	88
営業外費用		
支払手数料	—	20
その他	3	0
営業外費用合計	3	20
経常利益	1,062	981
特別利益		
固定資産売却益	17	—
投資有価証券売却益	21	332
受取補償金	—	17
特別利益合計	38	350
特別損失		
固定資産売却損	—	0
固定資産除却損	0	5
投資有価証券評価損	—	1
減損損失	60	588
特別損失合計	61	596
税引前当期純利益	1,039	734
法人税、住民税及び事業税	342	334
過年度法人税等	68	—
法人税等調整額	29	0
法人税等合計	440	335
当期純利益	599	399

(3) 株主資本等変動計算書

前事業年度 (自 2017年4月1日 至 2018年3月31日)

(単位: 百万円)

	株主資本						自己株式	株主資本合計
	資本金	資本剰余金		利益剰余金				
		資本準備金	利益準備金	その他利益剰余金				
				別途積立金	繰越利益剰余金			
当期首残高	13,098	15,707	600	47,110	△631	△6,058	69,826	
当期変動額								
別途積立金の取崩				△1,500	1,500		—	
剰余金の配当					△527		△527	
当期純利益					599		599	
自己株式の取得						△0	△0	
株主資本以外の項目の当期変動額 (純額)								
当期変動額合計	—	—	—	△1,500	1,571	△0	71	
当期末残高	13,098	15,707	600	45,610	940	△6,059	69,897	

	評価・換算差額等	純資産合計
	その他有価証券評価差額金	
当期首残高	347	70,173
当期変動額		
別途積立金の取崩		—
剰余金の配当		△527
当期純利益		599
自己株式の取得		△0
株主資本以外の項目の当期変動額 (純額)	△80	△80
当期変動額合計	△80	△9
当期末残高	267	70,164

当事業年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)

(単位: 百万円)

	株主資本						
	資本金	資本剰余金 資本準備金	利益剰余金 利益準備金	利益剰余金		自己株式	株主資本合計
				その他利益剰余金			
				別途積立金	繰越利益剰余金		
当期首残高	13,098	15,707	600	45,610	940	△6,059	69,897
当期変動額							
別途積立金の取崩							—
剰余金の配当					△526		△526
当期純利益					399		399
自己株式の取得						△999	△999
株主資本以外の項目の当期変動額 (純額)							
当期変動額合計	—	—	—	—	△126	△999	△1,126
当期末残高	13,098	15,707	600	45,610	814	△7,059	68,770

	評価・換算差額等	純資産合計
	その他有価証券評価差額金	
当期首残高	267	70,164
当期変動額		
別途積立金の取崩		—
剰余金の配当		△526
当期純利益		399
自己株式の取得		△999
株主資本以外の項目の当期変動額 (純額)	△230	△230
当期変動額合計	△230	△1,356
当期末残高	37	68,808

(4) キャッシュ・フロー計算書

(単位: 百万円)

	前事業年度 (自 2017年4月1日 至 2018年3月31日)	当事業年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前当期純利益	1,039	734
減価償却費	363	354
減損損失	60	588
差入保証金償却額	4	4
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△12	△7
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	△14	7
受取利息及び受取配当金	△18	△12
投資有価証券売却損益 (△は益)	△21	△332
為替差損益 (△は益)	△0	△0
投資有価証券評価損益 (△は益)	—	1
固定資産除却損	0	5
固定資産売却損益 (△は益)	△17	0
売上債権の増減額 (△は増加)	△204	△64
たな卸資産の増減額 (△は増加)	910	1,282
仕入債務の増減額 (△は減少)	△6	29
未払消費税等の増減額 (△は減少)	52	△17
その他	94	2
小計	2,231	2,577
利息及び配当金の受取額	18	12
法人税等の支払額	△366	△399
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,883	2,190
投資活動によるキャッシュ・フロー		
投資有価証券の取得による支出	△1	△1
投資有価証券の売却による収入	24	522
有形固定資産の取得による支出	△223	△181
有形固定資産の売却による収入	38	1
無形固定資産の取得による支出	△118	△63
関係会社出資金の払込による支出	—	△20
貸付金の回収による収入	2	2
差入保証金の差入による支出	△39	△65
差入保証金の回収による収入	179	175
その他	△20	△11
投資活動によるキャッシュ・フロー	△157	357
財務活動によるキャッシュ・フロー		
自己株式の取得による支出	△0	△1,017
自己株式取得のための預託金の増減額 (△は増加)	—	△13
配当金の支払額	△527	△526
財務活動によるキャッシュ・フロー	△527	△1,556
現金及び現金同等物に係る換算差額	0	0
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	1,197	991
現金及び現金同等物の期首残高	37,700	38,898
現金及び現金同等物の期末残高	38,898	39,889

(5) 財務諸表に関する注記事項

〈継続企業の前提に関する注記〉

該当事項はありません。

〈表示方法の変更〉

(「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」の適用に伴う変更)

「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」(企業会計基準第28号 2018年2月16日)を当事業年度の期首から適用し、繰延税金資産は投資その他の資産の区分に表示し、繰延税金負債は固定負債の区分に表示する方法に変更しております。

この結果、前事業年度の貸借対照表において、「流動資産」の「繰延税金資産」87百万円は、「投資その他の資産」の「繰延税金資産」138百万円に含めて表示しております。

〈持分法損益等〉

前事業年度、当事業年度のいずれにおいても、該当事項はありません。

〈セグメント情報〉

当社の事業内容は、指輪、ネックレス・ブレスレット、小物等の宝飾品の製造とその販売であり、区分すべき事業セグメントが存在しないため、前事業年度、当事業年度のいずれにおいても記載を省略しております。

〈1株当たり情報〉

	前事業年度 (自 2017年4月 1日) (至 2018年3月31日)	当事業年度 (自 2018年4月 1日) (至 2019年3月31日)
1株当たり純資産額	3,990円91銭	4,026円20銭
1株当たり当期純利益金額	34円08銭	22円94銭

(注) 1. 潜在株式調整後1株当たり当期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載していません。

2. 1株当たり当期純利益金額又は1株当たり当期純損失金額の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前事業年度 (自 2017年4月 1日) (至 2018年3月31日)	当事業年度 (自 2018年4月 1日) (至 2019年3月31日)
当期純利益金額 (百万円)	599	399
普通株主に帰属しない金額 (百万円)	—	—
普通株式に係る当期純利益金額 (百万円)	599	399
期中平均株式数 (千株)	17,581	17,423

〈重要な後発事象〉

該当事項はありません。